

## 持続可能な地域の作り方

～地方創生実現のためのSDGsアプローチ～ vol. 2

# 地域社会の10の未来シナリオ

issue+design代表 寛 裕介

### 新型コロナウイルスと共生する2020年代

5月6日時点で、日本全国に新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言が発令中である。宣言解除後も、ワクチンの完成や普及には相当時間がかかる見込みで、人類が長期にわたってこの感染症と共生する日々を送ることは間違いない。

SDGsとは、人類に関連する17領域にわたる複雑な課題の全体像と因果関係を掴み、自分自身が仲間とともに、何をどう取り組むべきかを考える「未来の羅針盤」として優れたツールである。

そこで、新型コロナとともに生きる2020年代の地域社会の未来シナリオをSDGs視点で10個描いてみた。各シナリオとその骨子となるキーワードを以下に記し、因果関係のマップを図に示す。

### シナリオ1 逆都市化

#### 都心から郊外へ、大都市圏から地方圏へ

リモートワークとオンライン学習／働き方の多様性アップ／サプライチェーン再構築／都心から郊外、大都市から地方への人口分散／海山川緑空地の価値向上／都市・国家間連携の強化

### シナリオ2 身体性の技術代替

#### 安全確保のためのリアル・バーチャル融合

オンライン化する人生／五感拡張技術の進化／接客・ケア・運送技術の進化／キャッシュレス化／技術による労働力不足解消／レイバーシェア

### シナリオ3 広がる格差、消える技能

#### 消える中小企業・職人の技・味・知恵

支援遅れによる「まにあわない」倒産／後継者不足による「もういっか」廃業／オンラインリテラ

シーによる学力・経済力格差／技と命の喪失

### シナリオ4 セミベシックインカム社会

#### 生活を守り、挑戦を後押しする社会の実現

政府による生活・事業支援／電子政府化／雇用を守る企業姿勢の評価／学と働のインクルージョン化／起業環境とビジネス機会の充実／通信サービスのフリー化

### シナリオ5 デジタル無縁社会

#### オンラインと接触自粛が変える人間関係

コミュニケーションの3間化(空間・間接・簡潔)／地縁・社縁の衰退／家族内暴力(DV・虐待)の増加／障害者・単身高齢者他の孤立／うつ・自殺の増／オンライン力によるつながり格差

### シナリオ6 文化の進化

#### 消える・変わるの二極化へ

芸術文化・伝統芸能・祭・スポーツの淘汰・進化／1億総虚弱化／リアルのプレミアム化

### シナリオ7 ハレからケへ

#### 生活の力点が非日常から日常へシフト

コミュニティ時間の増加／家族の時間増・絆強化／私空間のリッチ化／日常食の充実／個(孤)モビリティの普及／ファッションのコモディティ化

### シナリオ8 テクノロジーの権力化

#### 安全性・利便性と危険性が表裏一体の社会

科学リテラシー向上・格差拡大／個人情報(移動・身体)の公開／公共空間情報(密度、空気)の公開／A.I.・ビッグデータ活用進化／生活のテクノロジー依存／行動監視社会

### シナリオ9 社会インフラの決壊

#### コロナ・高齢化・自然災害による危機

医療介護インフラの飽和／生活インフラの整備の遅れ／財政危機の加速

**シナリオ10 気候変動の加速**

**経済優先で忘れ去られる人類の危機**

気候変動政策の遅延／化石燃料回帰／再生可能燃料代替の遅れ／プラスチック使い捨て文化の再興／一次産業の危機／野生動物との隔離と生物多様性増／新たな感染症発生の危機

外出自粛・接触回避に伴う働き方の劇的変化は、市民の生活と居住地への意識を変えた。この変化は大都市集中型の都市構造を激変させる可能性がある。経済活動停止の影響も加わり、地域の技や知、文化、コミュニティのさらなる喪失・衰退が危惧される。オンラインでの事業やコミュニケーションが前提の社会では、オンライン力格差が生

じるであろう。医療介護ほかの社会インフラと経済優先で政策対応の遅れが見込まれる地球環境には、危機的状況が待ち受けているかもしれない。一方、安全性確保のために個人情報やテクノロジーの活用が進むことで、新たな事業や文化・スポーツの革新が起こる可能性も高い。

**コロナ禍がもたらす新時代の幕開け**

このように地域生活のありとあらゆる面が影響を受けている。私自身も法人の経営者として大幅な売り上げ減や4月開始予定の新規事業の無期延期という事態に直面している。経済活動の停止をはじめ、負の影響は大きい。

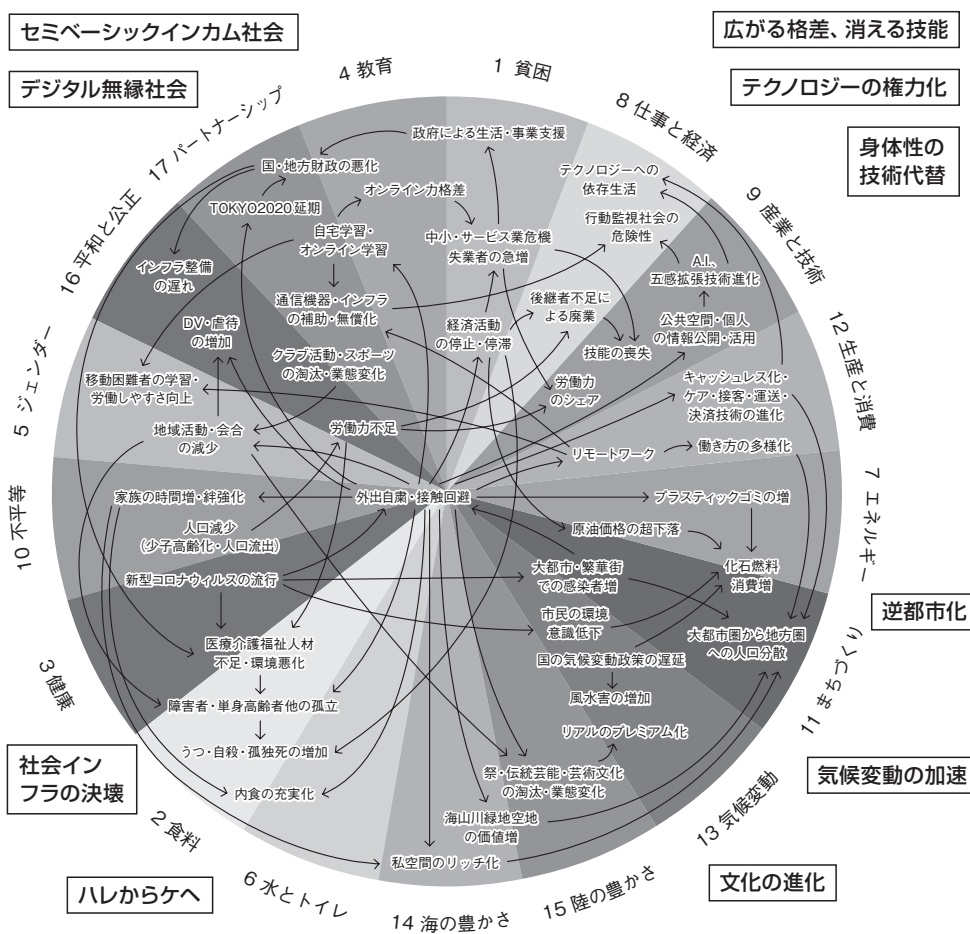
しかし、目の前の不安に怯え、呆然と立ち尽くしているだけでは、未来は拓けない。この苦境の先にある未来に向けて、自分自身で考え、必要な

知を集め、未来の姿を描き、その実現のために綿密に準備し、動き始める時期である。

これを契機に急激に普及するテクノロジーが、地域の距離的制約をゼロにしてくれる。東京一極集中の流れは変わった。開放的で混雑のない空間での生活に大きな価値があることが再確認された。

コロナとともに生きる2020年代を構想し、先んじて行動できる地域、事業者、市民には恵みあふれる未来が待っているに違いない。

図 新型コロナと共生する2020年代のシナリオと因果関係



出所：寛裕著「持続可能な地域のつくり方」